

あぷろうち

~ approach ~



日本労働組合総連合会
群馬県連合会(連合群馬)

発行人 清村宗一
編集人 中川文蔵

〒379-2166
群馬県前橋市野中町361番地の2
(群馬県労働福祉センター2F)
TEL. 027-263-0555(代)
FAX. 027-261-0549
Eメール info@gunma.jtuc-rengo.jp

2003年1月号
No.129



<上毛三山の1つ 赤城山>

裾野の広さは連合群馬の活動領域の広さを、上毛三山(榛名山、妙義山、赤城山)は産別・地協・連合群馬を意味し、それぞれが県下全域を見下ろし、存在感を示しています。



連合群馬 会長
大川 栄八郎

明けまして おめでとうございます。

「今年こそは・・・」という期待と希望をこれまでに大きく抱き、ご家族お揃いで新しい年を迎えられたことと思います。

昨年、デフレ経済からの早期脱却と景気回復、雇用の安定・確保に大きな期待を抱いてスタートしましたが、前半は緩やかな景気回復の兆しと完全失業率の一時回復を見せたものの、後半に入り、米国経済の先行き不安感の増大や株価の下落、不良債権処理の加速化政策などにより、急激に景況感は悪化し、雇用情勢も再び高止まりの状況の中で幕を閉じました。

そして迎えた2003年は、不良債権処理重視のデフレ対策と景気回復なき構造改革の推進によって、地域経済を支える中小・地場産業へのさらなる影響拡大が懸念されます。まさに、私たち勤労県民の生活基盤である「雇用」への危機感が一段と高まることが予測され、「行政・経営・労働」の三位一体による地域に根ざした雇用・経済対策の取り組み強化が求められています。

一方で、雇用と生活を守り抜く闘いとしての、春季生活闘争がス

タートし、連合群馬全体として、生活と雇用の危機的状況を打破するための景気回復と雇用確保に向けた、政策制度課題を柱とした社会的な運動展開による成果と、産別・単組を中心とした生活の維持安定を図るための生活防衛の主体的取り組みによる成果が、組合員はもとより、中小未組織の勤労者をはじめ勤労県民から求められています。

また、勤労者、生活者の視点に立った地域社会づくりに重要な役割を担う、統一地方自治体選挙の取り組みもスタートするなど、厳しく不透明な労働経済環境の中で、勤労県民を代表する連合群馬の役割や存在感さらには、組織内や地域の中での労働運動の力量が問われる重要な活動や課題が山積しています。

本年は、労働運動の真価が問われる年と位置づけ、危機感をもって「産別・地協・県連合」が「力合わせ」を行い、組織労働者という枠を拡大した勤労県民、地域住民、地域社会に根ざした社会的運動としての連合運動の質的強化を図り、確かな成果を出さなければなりません。

厳しく、難しい時代であるからこそ、県下に労働運動の存在感を示すチャンスと受け止め、県民による、県民のための社会運動の推進に、連合群馬に結集する仲間の皆さんの力を一つにして、明るく、元気に「勇往邁進」しましょう。

本年もよろしくお願いたします。

「顔合わせ・心合わせ」から

「力合わせ」の年へ

謹賀新年